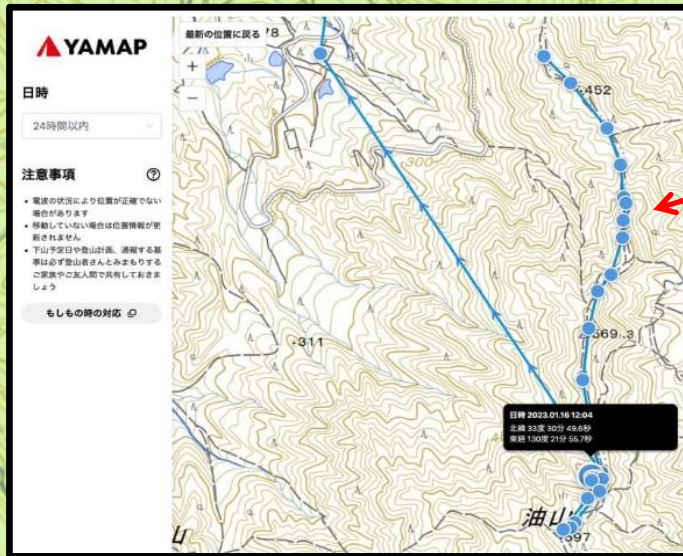


油山遭難(2023年1月)

70代男性、単独。登頂回数1000回を超える登りなれた山で滑落し身動きが取れない。
YAMAPの「みまもり機能」を利用していたため家族が滑落地点を消防に伝え救助された。



実際のみまもり機能・位置情報画面。登山道の途中からスタート、最後はヘリで運ばれた直線の軌跡が残る(YAMAPホームページより抜粋)

滑落し身動きとれない

解説

「いつものルートを歩いて登頂した後、下山する途中で滑落しました。あとから時間を見返して気付いたのですが、滑落してからはおそらく1時間ほど気絶していたのだと思います。気付いたときにはうつ伏せの状態に寝転がっており、手は胸と斜面の間であって、痺れて動かない状態でした。20mも滑落したのですが、不思議とどこも痛くなかったんです。でも、どう動かそうにも動かない。身体がいうことを聞かない。仰向けになるために動こうとして、1,2mほど滑落しながらもなんとか身体をひねり、ウエストバッグに入っていたスマートフォンを取り出して、ようやく電話に出ることができたのです。」

「救助されたとき、父の体温は34℃台でした。今回は早く救助されたからよかったものの、これが見つけられずにひと晩過ごすことになっていたとしたら、低体温症で危なかったかもしれません。」
(YAMAPホームページより抜粋)

YAMAPでは「みまもり機能」。ヤマレコでは「いまココ」機能が無料で利用できる。計画書を提出し、地図アプリをインストールしていても遭難者を探し出せず死に至るケースがある。この機能はいつもの山だから大丈夫とかではなく、山に行くときは常時利用してほしい素晴らしい機能だ。YAMAPさんヤマレコさん、ありがとうございます。